

ムラタのコンピタンス

それぞれの強みを練磨し、つなげることで総合力をあげていきます。

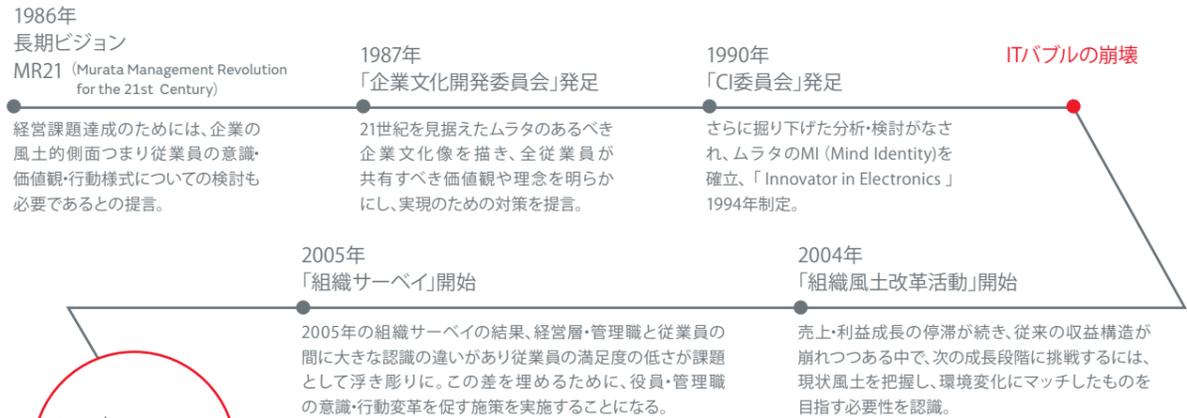
売上のほとんどをグローバルマーケットにおける高シェア製品で構成しているため、幅広い業界の多くのお客様とコミュニケーションをする機会があり、先行してお客様のニーズを引き出すことができます。ムラタの強みは、グローバルな販売ネットワーク、技術開発力、モノづくり力、供給力。これらの要素が連携しあうことで、総合力をあげていきます。

コア・コンピタンス CSとESがドライブするイノベーション



「文化の発展に貢献すること」これは、ムラタのミッションであり、ムラタはこのために存在しています。このミッションを従業員全員で実現していくために、「CSとES」を経営における大事な価値観としています。ムラタにおけるCSとは、「お客様が認めてくださる価値を創造し、提供すること」、ESとは「仕事を通じて従業員一人ひとりがやりがいを感じ成長し続けること」。これらを、日々の仕事の中で実現できる企業でありたいと考え、実践しています。

社是制定後の組織文化に対する取り組み



CSとESを理解するためのアクション

役員自らがCSとESを学び議論する場として、役員合宿をスタートさせました。現在も四半期に一度役員全員が集まり議論を重ねています。今回の中期でもあらためて、CSとESがドライブしてイノベーションを起こしていくことがムラタの最大の価値であることを定義しました。



コンピタンス 1 世の中の変化・顧客ニーズの先読み

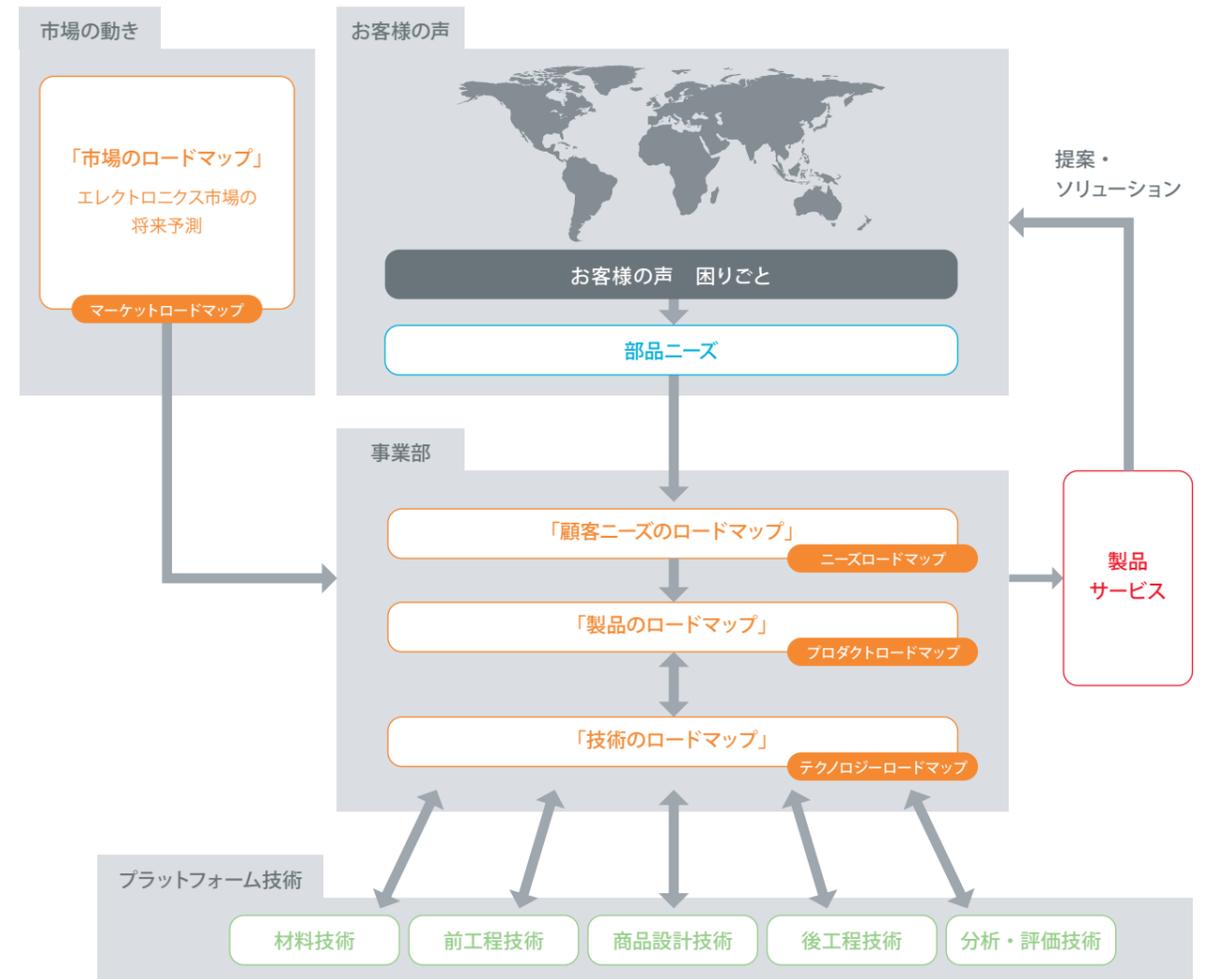
日本、アジア、南北アメリカ、ヨーロッパ、世界中のどこでも、ムラタのサービスと製品を提供できるネットワークがあります。「全員マーケティング」を合言葉に、

グローバルなネットワークを活かし、お客様のニーズをどこよりも早く引き出し、一人ひとりのお客様への提供価値最大化を実践しています。

マーケティング力を活かしたロードマップの策定

5G時代におけるIoTや自動運転、AI等の新技術は個々の電子機器だけでなく、交通システムや都市、そして社会全体を変えていきます。ムラタは、変化の大きい事業環境においても顧客価値を提供し続けるために、販売、マーケティング、開発、生産の連携を強め、顧客ニーズに最適なソリューションを先読みして提供する活動を強化しています。その活動のひとつとして、4つのロードマップを策定して

います。営業本部が大きなマーケットの流れを読み取り、マーケットロードマップを作成し、各エリアの販売マーケティング部門と事業部の販売促進部門がマーケットロードマップと中長期的な顧客ニーズを融合し、ニーズロードマップを描きます。それを開発部門でプロダクトロードマップ、テクノロジーロードマップへとつなげています。これらのロードマップを毎年改定し、研究開発と製品開発につなげています。

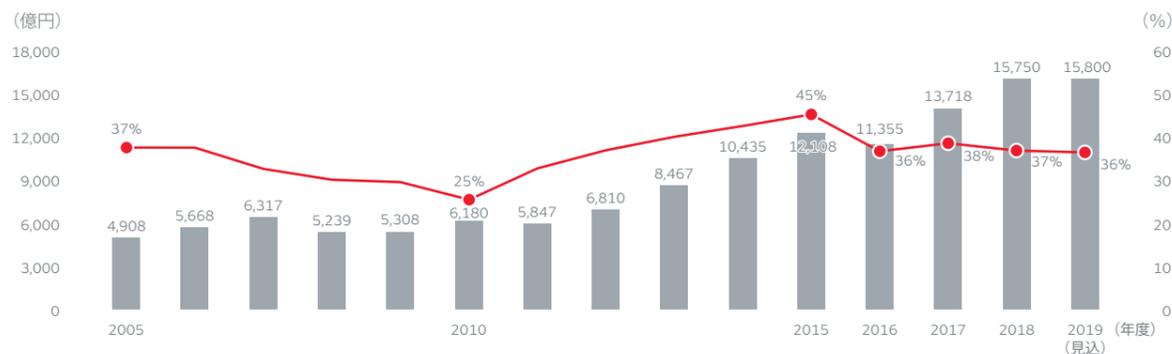


コンピタンス 2 継続的な投資による新商品開発と蓄積される知的財産

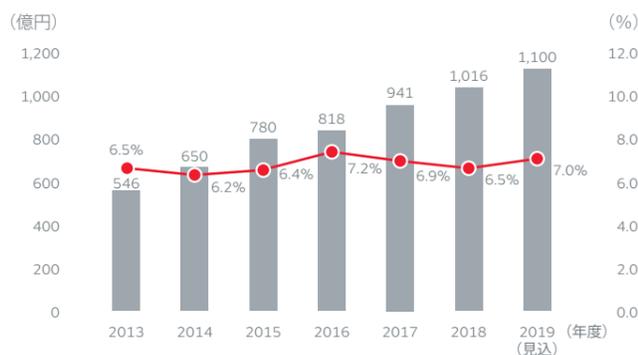
材料から製品までの一貫生産体制を構築しているムラタでは、材料技術、基盤技術などを独自に開発し、他社にはないノウハウを蓄積しています。

継続的な技術開発投資により、製品の差別化を図り、ムラタの大きなコンピタンスとなっています。

●売上高と新製品売上高比率の推移 ■売上高 ●新製品比率

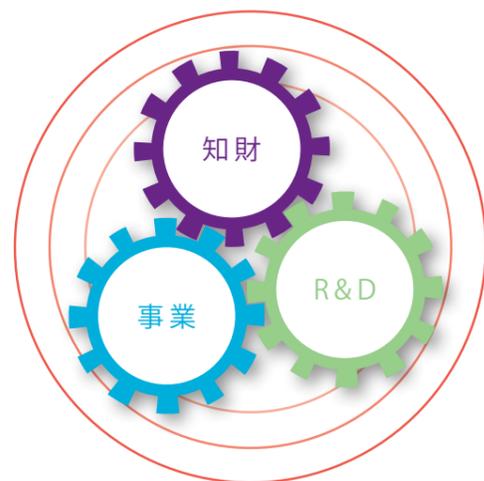


●研究開発費と売上高比率 ■研究開発費 ●売上高比率



知的財産の蓄積

ムラタでは、知財戦略を事業戦略・開発戦略の一部であると考えており、事業戦略・開発戦略に基づいた知財戦略・知財活動を推進しています。各事業部・開発部門には知財活動を推進する責任者およびパテントリーダーを設定しており、知的財産部と協力しながら、責任者およびパテントリーダーが中心となって知財活動に取り組んでいます。また、知的財産に関する階層・職能教育、ワークショップ、パテントフォーラムなどのさまざまなイベントを通し、知財マインドの醸成を行っています。



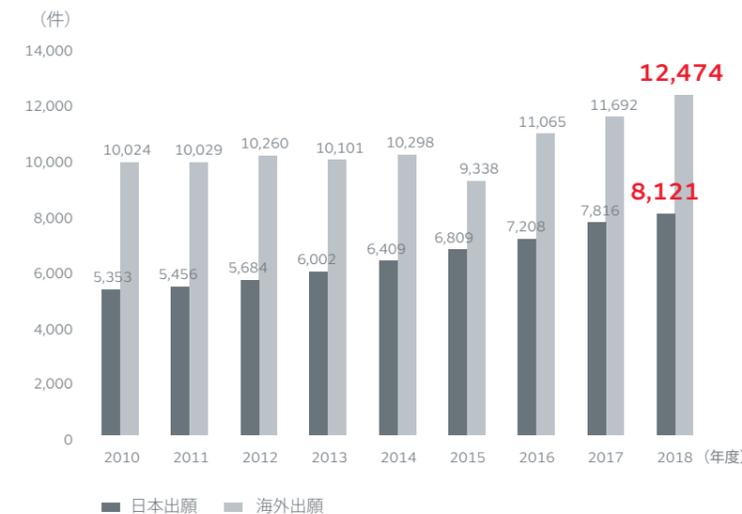
村田製作所グループの保有特許件数の推移

保有特許件数は日本および海外ともに年々増加しています。その要因は、M&Aによる技術領域の拡大で出願数が増加していること、また特許譲渡分が加算されていることにあります。また、海外での出願数が

増加しているのは、海外売上比率の上昇とともに、海外出願を積極的に行っているためです。海外出願を進めるときには、PCT出願を活用して出願国の見極めを行い、費用対効果を考慮した海外出願を行っています。

国際出願 (PCT) ランキング

世界ランキング
第29位
日系企業ランキング
第10位



※出所：WIPO (世界知的所有権機関)
Patent Cooperation Treaty Yearly Review 2018

コンピタンス 3 強いモノづくり力に支えられたタイムリーな供給

すべての技術がまっすぐに市場とお客様につながっています。ムラタは、材料開発、プロセス開発、商品開発、生産技術開発を自社で行っており、これらを

垂直統合することでスピーディーかつタイムリーにお客様への価値提供を実現しています。

●ムラタのモノづくり

